

藍色の染料になる品種もあります。

<植物名>

インディゴフェラ
コマツナギ

水やり

土の表面が乾いたら水やりをする。

置き場所

日当たりの良い場所に置く。

用土肥料

水はけが良く、腐植質の多い土を好む。

植え替え

特記事項なし。

ふやし方

株分け、実生

冬越し

特記事項なし。

使い方 庭植え、生垣、ロックガーデン、鉢植え

学名 Indigofera

英名 indigo

属名 コマツナギ

科名 マメ

性状(分類) 低木、多年草

原産地 中国、ヒマラヤ

花の色 ピンク、紫、赤紫、白

開花期 初夏～秋

購入時期

草丈 30～200cm

ID 174

季節 夏、秋

JFコード 61572



冬越しと置き場所

日当たりと排水の良い、やや保湿性のあるようなところが適している。

その他の解説

年々枝数を増やして大きな株になるが、整枝などの必要はない。腐植質の多い土を好む。

特徴1

インディゴフェラは、世界に約700種あるといわれているマメ科の植物。土の表面が乾いたら水やりをする。土は水はけを良くしておく。

特徴2

インディゴフェラは、世界に約700種あるといわれているマメ科の植物で、日本にもニワフジの和名で知られるデコラなどが自生している。藍色の染料にもなる品種があることから、ラテン語の'藍色(indigo)'と'もたらす(fero)'とで、その名が付けられたそう。